

にいがたの働く女性応援事業【新潟県】

総事業費	5,109 千円
交付金額	2,554 千円

地域の実情と課題

- 常用雇用者10人未満の事業所が全体の7割を占める。
企業規模:大企業0.2%、中小企業99.8%
- 女性の就業率、共働き世帯が5割を超えているが、管理的職業従事者に占める女性の割合は全国に比べ低い。
- 女性が自ら管理職になることを希望しないとするとする割合が全国に比べ高い。

目的・目標

- 女性の職業生活における活躍を推進するため、女性リーダーの養成、企業において女性が活躍できる環境の整備、男性育休の取得促進のほか、女性の理工系への進学・就職のロールモデル啓発などに取り組み、女性活躍の機運を醸成する。
目標:管理・監督的業務に従事する者に占める女性の割合 R6 24%

事業の特徴

- 企業における女性活躍の推進のため、女性に対する研修の他、企業や男性も含めた事業をワンパッケージで実施。
 - ・女性リーダー養成講座
 - ・企業管理者・経営者向けセミナー
 - ・再就職支援講座
 - ・男性育休の取得促進
 - ・理工系女性ロールモデル啓発

連携団体

新潟県女性活躍推進協議会

- 一般社団法人新潟県経営者協会
- 新潟経済同友会
- 一般社団法人新潟県商工会議所連合会
- 新潟県商工会連合会
- 新潟県中小企業団体中央会
- 新潟県中小企業家同友会
- 日本労働組合総連合新潟連合会

- 特定非営利活動法人ワーキングウイメンズアソシエーション
- 新潟大学人文学部教授
- 株式会社新潟日報社
- 公益財団法人新潟県女性財団
- 見附市
- 聖籠町
- 新潟労働局
- 新潟県

事業の効果

- 働く女性に対するセミナーの実施により、女性のキャリアアップやリーダーとなることへの意欲の喚起に寄与することができた。また、企業においても、女性活躍促進の重要性や意義について理解が図られた。そのほか、女性の再就職支援セミナーによる就職への意欲醸成、男性育休取得促進のためのポスター配布による企業の男性育休取得促進、若者への女性理工系ロールモデルの出前講座の実施についても高い評価を得ることができた。

今後の課題

- セミナーや講座によっては、定員を下回るものもあったため、参加者拡大に向けた効果的な広報の実施を工夫する必要がある。
- また、企業や女性のニーズの調査を行うなど、実際に必要とされる内容のセミナーや講座を実施する必要があり、実施方法も企業への出前形式など工夫が必要。

事業の概要

働く女性支援講座

■企業管理者・経営者向けセミナー

企業の管理者・人事労務担当者等を対象に、企業における女性活躍の理解を促進するセミナー実施を開催

回数：連続4回（対面・オンライン）参加者：延べ89人

■女性リーダー養成講座

リーダーへのキャリアアップを目指す女性等を対象に、意識醸成や能力開発の必要性を学ぶ講座を実施

回数：県内2会場各2回（対面）参加者：延べ70人



女性の再就援支援講座

■再就業を目指すための女性向けセミナー

再就業を目指す女性等を対象に、働き方のヒントやルールなどを学び、就労意欲の醸成を図るセミナーを開催

回数：連続3回（対面・オンライン）

参加者：延べ101人



男性育休の取得促進事業

■男性育休取得キャンペーンの実施

R4. 10月に施行された育児・介護休業法の改正にあわせ、男性育休取得促進の啓発ポスターを作成・配布

配布先：ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）等

■男性向け育休取得啓発冊子の作成

「パパのための育休ハンドブック」を作成し、市町村に母子健康手帳の交付時に配布を依頼



■男性育休セミナーの開催

「みんなで育休後カフェ」を開催し、育児休業制度等に関する講演と、参加者同士で育休中の家事・育児について話し合うワークショップを実施

回数：1回（オンライン）参加者：4人

女性のロールモデル啓発事業

■理工系女性のロールモデル紹介

中学生を対象に、理工系キャリアを活かして企業で活躍する女性を紹介する出前講座を実施

実施校：1校（87人）

講師：女性技術者2名

